

ご あ い さ つ

皆様方におかれましては、平素から大変お世話になっており、改めて厚くお礼を申し上げます。

この度、広島県議会の最大会派である「自民議連」の会長として、全議員 58 人のうち過半数を超える 30 人が所属する会派の舵取りを行うこととなりました。

県議会の最大会派として、県執行部に対しても、しっかりと意見を述べるなど、是々非々の姿勢で臨みながら、県政運営を支える重要な役割を果たし、湯崎知事とともに広島県の発展に向けた取組を着実に推進してまいります。

また、先般の参議院選挙におきまして、岸田政権が評価され、与党が安定的な議席を確保しました。

引き続き、岸田政権を地元から支えていきます。

この選挙戦の最後、安倍元総理大臣の突然の訃報に接することとなりました。

安倍元総理大臣におかれましては、地方創生を強力に推進されるなど、我が国の発展に尽力されたところであり、民主主義に対する野蛮な行為である、この度の事件には、強い怒りと憤りを覚えております。

安倍元総理大臣のご冥福を心よりお祈り申し上げます。

さて、ロシアによるウクライナ侵略や核兵器による威嚇など緊迫した国際情勢が続く中、来年のG7サミットの広島開催が、岸田総理の下、政府において決定されたことは、非常に意義のあることであり、心から歓迎したいと思っております。

今後は、広島県を始め、県内市町や経済団体など、オール広島で、開催に向けた準備が進められます。県議会としても、しっかり連携し取り組んでいきます。

一方で、2年半に及ぶコロナ禍で疲弊した地域経済に、追い打ちをかけるような、ウクライナ危機に伴う、ガソリン、電気、食料品などの価格上昇により、社会・経済の発展的回復が、阻害されかねない状況にあります。

また、新型コロナウイルス感染症についても、引き続き、感染防止対策と地域経済対策を両輪として推進する必要があります。

広島県議会6月定例会では、G7広島サミット開催準備、原油価格・物価高騰対策、新型コロナウイルス対策など、これら直面する課題に対応するため、総額357億円の補正予算が成立したところでございますが、刻々と変わる状況を把握し、スピード感を持って対応するよう、私からも、引き続き、県に対して強く求めてまいりますので、皆様のご意見をお聞かせいただきますようお願い申し上げます。

令和4年7月